

高校入試理科語句問題3 解答

1 福岡	次のカッコに適切な語句を入れなさい。『雲は地上付近にできる場合もあります。地上付近にできた雲を()といい、内陸の盆地などで、深夜から早朝によく見られます。』	霧(きり)
2 福岡	次の(A)(B)にイオンの名称を書きなさい。『酸性とアルカリ性の水溶液を混ぜ合わせると、お互いの性質を打ち消し合うことがわかった。これを中和という。中和では酸の(A)とアルカリの(B)が結びついて水ができる。』	A:水素イオン、B:水酸化物イオン
3 群馬	下水処理場では、細菌類などの微生物のはたらきにより水をきれいにしている。その際、下水処理場で微生物を増やしたり、微生物の働きを活発にしたりするために与えているものはなにか、書きなさい。	空気(酸素)
4 福岡	温度の異なる物体が接しているとき、熱が温度の高い方から低い方へ移動する現象を何というか。	(熱)伝導
5 岡山	次の文は顕微鏡の操作に関する文である。カッコに入る顕微鏡の部位の名称を書きなさい。『低倍率でピントが合っている状態から、より高い倍率で観察しようとするとき、まず()を手で回して高倍率の対物レンズにかえる。』	レボルバー
6 福岡	カシオペア座を観察していたところ、時間がたつと場所が動いていることがわかった。1日の間で時間がたつとともに動く、星の見かけ上の運動を、星の何というか、書きなさい。	日周運動
7 福岡	「熱いものに手がふれたとき、熱いと感じる前に、思わず手を引っこめる」などの意識と関係なく起こる反応を何というか。	反射
8 岡山	次の文の(★実験)の部分の化学変化で酸化された物質は何か、物質名を書きなさい。『(準備)ガスバーナーで銅線を熱したところ黒色になった。(★実験)この黒色の銅線を加熱し、水素で満たされた試験管に入れた後、冷やしてから取り出したところ、光沢のある銅の色になった。』	水素
9 群馬	水とエタノールの混合物がある。これを加熱してエタノールを取り出すには、何という方法を用いたらよいか。	蒸留
10 群馬	次の文のカッコに当てはまる語を書きなさい。『太陽のように、自ら光を出している天体を()という。』	恒星
11 岡山	次の文の(A)、(B)にあてはまる言葉を書きなさい。ただし、(A)、(B)は2つずつある。『(A)の本体はDNAという物質であることが明らかになっている。一つの細胞に1つ存在する核の中に(B)が含まれる。(B)の中にある(A)によって親から子へ形質が伝わる。』	A:遺伝子、B:染色体
12 福岡	「後ろから肩をたたかれたので、振り返る」という刺激は皮ふで受けとられる。皮ふや目、耳のように、まわりのさまざまな状態を刺激として受け取ることができる部分を何というか。	感覚器官
13 群馬	冬に発達し、日本列島に北西の季節風をもたらす冷たく乾燥した気団を何というか、書きなさい。	シベリア気団
14 岡山	イオンエンジンを装備したロケットでは、「ロケット」が「イオン」を後方へ押し出すと同時に、「イオン」が「ロケット」を前方に押し返しており、二つの物体間で同時に同じ大きさで逆方向の力が働いている。この法則を何というか、書きなさい。	作用・反作用の法則
15 福岡	白熱電球とLED電球の消費電力の違いについて述べた次の文のカッコに適切な語句を入れなさい。『白熱電球に比べてLED電球は、電気エネルギーを()エネルギーに変換する際に発生する熱の量が少ないので、消費電力が小さい。』	光
16 福岡	次の文のカッコに適切な語句を入れよ。『葉で作られた養分は、維管束の中の()という管を通して植物の体全体に運ばれる。』	師管
17 群馬	だ液に含まれる消化酵素の実験を行なった。デンプン溶液を入れた二つの試験管の温度を40℃に保ち、(1)には水を、(2)にはだ液を入れた。その後、しばらくしてヨウ素液を加えて色の変化を観察したところ、(1)は青紫色になり、(2)は変化がなかった。(1)、(2)の結果を比較してわかることを、簡潔に書きなさい。	デンプンはだ液によって分解される。
18 福岡	次のカッコに色の名前を書きなさい。『BTB溶液を加えたうすい塩酸5mLにうすい水酸化ナトリウム溶液6mLを加えた時の溶液の色は()色であった。その後、この溶液にうすい塩酸を1mL加えたところ、溶液の色は緑色になった。』	青
19 群馬	物体は外から力を加えないかぎり、運動しているときは運動の状態を保とうとし、静止しているときは静止の状態を保とうとする。物体が持つこのような性質を何というか、書きなさい。	慣性
20 群馬	だ液に含まれる、デンプンを分解する消化酵素は何か、名称を答えなさい。	アミラーゼ